

**「当社によるゼロックスコーポレーション株式の50.1%取得  
および 富士ゼロックスとゼロックスコーポレーションの経営統合説明会」  
主な質疑応答**

Q: Xerox 株式の 50.1%取得に至った経緯を教えてください。

A: 2017年12月のXerox Corporationによる会社分割を機にJeff JacobsonがCEOに就任して以来、様々な選択肢を検討する中で、今回のストラクチャーのアイデアが出てきた。当社の保有する75%分の富士ゼロックス株式を活用することで、当社グループから現金を外部流出させることなく、Xerox株式の過半を取得し、中期経営計画VISION2019で掲げているヘルスケアや高機能材料などの成長領域の強化加速と、ドキュメント事業の抜本的強化が可能となる。

Q: 将来的にXeroxを完全子会社化することはありえるか？

A: そのような考えはない。仮に残り49.9%の株式を買い取り、完全子会社化しようとするれば、数千億規模の多額のキャッシュが必要となるが、投資効率を損ねるような取引は行わない。

Q: Xeroxのような米国の大企業に対して、いかにガバナンスを効かせていくのか？

A: 当社にはこれまで米国企業の買収を成長に導いた経験と実績がある。Xeroxは伝統ある大企業であり、これまでの案件と比べて難しさはあるが、同社とは50年以上の協業関係を通じて、お互いをよく理解している。また、新富士ゼロックスのCEOに指名されるJeff Jacobsonとは固い信頼関係を築いているほか、取締役12名のうち過半となる7名や、業務執行面でも当社の人材を登用することで、しっかりとガバナンスを効かせていく。

以上